

美濃病院経営強化プラン検証表

(注) 1. 資本的収支以外の各金額は消費税抜き額(単位:千円) 2. 患者数は健診・予防接種等を除く

項目				6年度 実績値	6年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	5年度 目標値	5年度 実績値	備 考		
収益的収支	収入	医業収益	1. 入院、外来収益	①	2,423,976	2,416,662	100.30%	2,313,536	2,376,017		
			2. 他会計負担金	②	16,376	16,418	99.74%	14,632	16,418		
			3. その他	③	221,525	233,108	95.03%	200,851	211,018		
		医業外収益	1. 他会計負担金	④	18,051	17,599	102.57%	22,468	19,767		
			2. 他会計補助金	⑤	27,300	21,675	125.95%	19,981	49,200		
			3. その他	⑥	29,329	25,000	117.32%	20,000	87,150		
		収入計 (A)			⑦	2,736,557	2,730,462	100.22%	2,591,468	2,759,570	
	支出	医業費用	1. 給与費	⑧	1,490,227	1,361,047	109.49%	1,364,158	1,352,761		
			2. 材料費	⑨	307,205	319,942	96.02%	354,062	317,524		
			3. 経費	⑩	741,822	706,539	104.99%	460,281	726,209		
			4. 減価償却費	⑪	212,559	218,627	97.22%	245,210	209,933		
			5. 資産減耗費	⑫	2,015	3,000	67.17%	1,000	2,688		
			6. その他	⑬	63,018	62,939	100.13%	53,109	65,756		
		医業外費用	1. 支払利息	⑭	23,568	23,568	100.00%	34,887	26,349		
			2. 繰延資産償却	⑮	7,888	7,888	100.00%	17,456	7,888		
			3. その他	⑯	104,665	60,000	174.44%	58,000	100,058		
			支出計 (B)			⑰	2,952,967	2,763,550	106.85%	2,588,163	2,809,166
経常利益 (C) =(A)-(B)			⑱	△ 216,410	△ 33,088		3,305	△ 49,596			
特別損益 (D)			⑲	△ 2,908	△ 2,000		△ 3,000	△ 17,106			
当年度純利益 (E) = (C)+(D)			⑳	△ 219,318	△ 35,088		305	△ 66,702			
前年度未処分利益剰余金 (F)				㉑	242,435	264,693		256,874	309,137		
前年度分利益剰余金処分額 (G)				㉒							
前年度繰越利益剰余金 (H) =(F)-(G)				㉓	242,435	264,693		256,874	309,137		
当年度未処分利益剰余金 (I) =(E)+(H)				㉔	23,117	229,605		257,179	242,435		
資本的収支	収入	1. 企業債			㉕	46,400					
		2. 出資金(他会計)			㉖	164,849	164,849	100.00%	144,597	163,019	
		3. 国、県負担金、補助金			㉗	9,933					
		4. 他会計負担金、補助金			㉘	0					
		5. その他									
	収入計 (J)			㉙	221,182	164,849	134.17%	144,597	163,019		
	支出	1. 建設改良費			㉚	204,063	30,000	680.21%	20,000	145,169	
		2. 企業債償還金			㉛	262,984	262,984	100.00%	225,915	260,202	
3. その他			㉜								
支出計 (K)			㉝	467,047	292,984	159.41%	245,915	405,371			
差し引き合計 (L) =(J)-(K)			㉞	△ 245,865	△ 128,135		△ 101,318	△ 242,352			
留保資金	前年度末残高			㉟	2,766,233	2,806,116		2,783,970	2,851,222		
	当年度増減額	当年度発生額	減価償却費	㊱	212,559	218,627		245,210	209,933		
			資産減耗費	㊲	2,015	3,000		1,000	2,688		
			繰延資産償却	㊳	7,888	7,888		17,456	7,888		
			収益的収支	㊴	△ 219,318	△ 35,088		305	△ 66,702		
			その他(調整を含む)	㊵	17,684	700		700	3,556		
			当年度充当額	㊶	245,865	128,135		101,318	242,352		
		資本的収支	㊷	245,865	128,135		101,318	242,352			
	その他										
	当年度末残高			㊸	2,541,196	2,873,108		2,947,323	2,766,233		
	一般会計繰出金の合計額			㊹	226,576	220,541		201,678	248,404		
	年度末企業債残高			㊺	2,001,950	1,955,549		3,035,863	2,218,534		

美濃病院経営強化プランにかかる目標値と実績値

項目	6年度 実績値	6年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	5年度 目標値	5年度 実績値	備 考
救急受入件数(件)	㊼ 892	902	98.89%	902	919	
手術件数(件)	㊽ 817	630	129.68%	630	611	
在宅復帰率(%)	㊾ 94.5	87.0	108.62%	86.0	91.9	
紹介率(%)	㊿ 39.2	35.0	112.00%	35.0	38.1	
地域医療研修の受入人数(人)	㋀ 12	9	133.33%	8	10	
経常収支比率(%)	㋁ 92.7	98.9	93.73%	98.5	98.2	
修正医業収支比率(%)	㋂ 93.9	97.9	95.91%	97.1	96.7	
1日あたり入院患者数(人)	㋃ 107.4	107.5	99.91%	107.3	105.8	
1日あたり外来患者数(人)	㋄ 272.6	265.0	102.87%	260.0	252.8	
入院単価(円)	㋅ 42,203	40,850	103.31%	40,700	42,876	
外来単価(円)	㋆ 11,615	12,125	95.79%	12,000	11,601	
病床利用率(%)	㋇ 88.1	88.1	100.00%	88.0	86.7	
DPC病棟平均在院日数(日)	㋈ 13.9	12.7	109.45%	12.6	13.5	
材料費 対医業収益比率(%)	㋉ 11.5	12.2	94.26%	12.3	12.2	
経費 対医業収益比率(%)	㋊ 27.9	27.1	102.95%	27.5	27.9	
職員給与費 対医業収益比率(%)	㋋ 56.0	51.7	108.32%	51.9	52.0	
減価償却費 対医業収益比率(%)	㋌ 8.0	7.9	101.27%	8.1	8.1	
後発医薬品の使用割合(%)	㋍ 55.7	43.0	129.53%	43.0	54.9	
常勤医師数(人)	㋎ 10	9	111.11%	8	8	
看護師数(人)	㋏ 100	101	99.01%	103	104	
企業債残高(千円)	㋐ 2,001,950	2,025,362	98.84%	2,218,533	2,218,533	

令和6年度決算 美濃市立美濃病院経営強化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和7年8月6日（水） 午前10時00分～10時30分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 2階大会議室

出席委員：長尾副市長 西部総務部長 後藤秘書課長 中島会計管理者 曾貝保健センター所長
篠田総務課長 島田福祉子ども課長 藤井高齢福祉保険課長
井川病院事務局長 春田病院事務局管理課長

1. 開会及び進行（事務局長）

約2.2億円の赤字、留保資金も25億円に減少している。

医師・看護師等の医療職の確保が難しい状況

2. 議題

（1）令和6年度美濃病院経営強化プランの検証・評価

春田管理課長：美濃病院経営強化プラン検証表及びR6決算書資料にて決算状況を説明。

〈質疑〉

長尾副市長：材料費が減っている理由は？

・・・高額の抗がん剤注射薬について、ジェネリックを採用し、薬品費を削減しています。また、3病院で設立した美濃国地域医療リネージュにより、診療材料の共同交渉を実施し、費用を抑えています。

長尾副市長：人件費の高騰により、経営状況が悪化している。

・・・人事院勧告に沿って、給与が上がっており、対応しない場合、他病院への職員の流出もあります。材料費など経費の削減だけでなく、院長自ら施設等に営業活動に赴き収入確保にも取り組んでいます。また、健診業務の拡充に努めています。

長尾副市長：手術件数が大きく増えている理由は？

・・・眼科に会計年度職員の医師1名が増加しています。また、新しく整形外科に見えた医師も積極的に手術を行っています。

島田福祉子ども課長：周辺の診療所の開院・閉院の影響は？

・・・みの整形外科の開院により、整形外科外来の患者が一時的に減少しましたが、なかの内科や滝谷医院などの閉院により、患者の半分くらいは美濃病院に紹介されたこともあり、前年度より外来患者は増加しています。

島田福祉子ども課長：岐阜バスが入らなくなったことによる患者への影響は？

・・・現在、入っている岐阜バスは1台のみ。のりあいくんや美並のバスを利用している患者は多いが、バスの利用者はなく、影響はないです。

西部総務部長：会計年度任用職員の確保はどうか？

- ・・・医師等含めて 65 名おり、確保はできているが、夜勤ができる職員が限られており、苦慮しています。

後藤総務課長：病院の施設・設備の状況は？

- ・・・施設や設備をできる限り使用することにより、経費削減を図っていたこともあり、計画的な更新や修繕を怠っていた。現状、施設・設備に故障が頻発しており、優先順位をつけて、対応していく予定です。

松波総合病院：令和 6 年度の自治体病院の経営状況調査では、85%もの病院が赤字となる見込みで、多くの病院で深刻な経営難に陥っています。

美濃病院が作成されたプランを見ると、医療機能や収入確保に関する目標値は概ね達成されていますが、経費削減や収益改善に関する目標値のほとんどが達成できていないことから、経費の上昇により経営状態が悪化していることが分かります。現状を打開することは非常に難しいと思いますが、美濃国地域医療リネージュの業務で、医療材料及び薬品に関する共同交渉による経費削減を更にすすめるとともに、高額な医療機器についても、共同交渉をすすめることができると、一層の経費の削減を図ることができる可能性があると思います。

また、昨年、委員会に出席した職員も話をしておりますが、美濃病院の一般会計繰出金対経常収益比率は約 8.3%となっており、同程度の病院の平均は 17.0%と約 2 倍となっています。少しでも赤字を減らすためにも繰出基準があるものについては要求されるとよいと思います。

3. 検証及び評価のまとめ

- (ア) 外来は良好であるが入院は伸び悩んでいる。在宅からのレスパイト入院の受け入れ等による入院患者の増加を図られたい。
- (イ) 令和 7 年度も同様に厳しい経営状況が見込まれるため、人件費、経費などの削減を務められたい。
- (ウ) 民生部との連携、健診体制の充実等により健診受診者の更なる拡大に努められたい。